

# 事業セグメント

当社グループは、トランスポート、デイリーライフ&ヘルスケア、エレクトロニクス、ビルディング&コンストラクションの4つの市場別セグメントで事業を行っています。

また、国内外の各拠点の連携により、営業、研究開発、調達、製造、品質管理等で合理化・効率化を進めているほか、市場や顧客ニーズを的確に捉え、戦略を立て着実に実行することで、グローバルに活躍する日系企業をはじめ、非日系企業とのビジネスを拡大しています。

今後も顧客の期待の先を行き、成長の源泉となる既存製品の拡販と市場シェア向上を目指すとともに、将来のビジネスの柱となり得る新製品・新規事業の創出に取り組んでいきます。

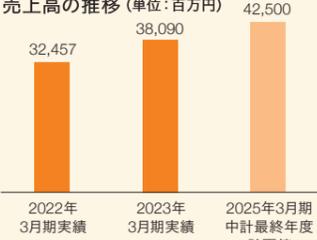
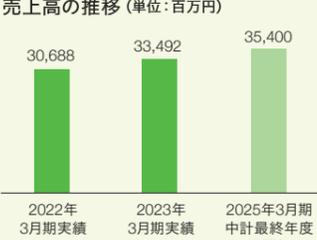
営業本部長  
かじやま がくゆき  
梶山 学之  
より

**グローバルマーケティングの更なる発展を目指します**

チャレンジメーカーとして、70年以上前に創業した当時のベンチャー精神を現在も引き継ぐ営業活動により、当社の製品は様々な市場で幅広く採用されています。今後は戦略的なマーケティングをさらに強化し、これまで以上にお客様のニーズを先取りしたご提案を進めます。重点戦略地域としているASEANに留まらず、グローバルで更なる販売エリアの拡大を目指します。

今後も新製品の市場展開や需要の高まる環境素材の販売により、樹脂素材で“すべての生活空間に快適さ”をお届けします。



事業セグメント	2023年3月期 概況	売上高・利益
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>トランスポート</b></p> <p>TRANSPORTATION</p> </div> </div>  <p>トランスポート事業では、自動車、鉄道、船舶市場等をターゲット市場とし、ワイヤーハーネスや自動車用成形部品等の様々な製品を開発しています。</p>	<p>国内・海外での自動車生産が徐々に回復し、原材料価格高騰に伴う製品への価格転嫁が進み、薄肉電線向けコンパウンドおよびシール部品・機能部品向けコンパウンドの拡販により、増収となりました。</p> <p>セグメント利益は、国内および海外での販売が増加したことにより、増益となりました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p><b>売上高</b></p> <p><b>38,090</b>百万円</p> <p>前年比…17.4%増</p> </div> <div> <p><b>セグメント利益</b></p> <p><b>3,858</b>百万円</p> <p>前年比…40.9%増</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>売上高の推移 (単位: 百万円)</p>  </div>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>デイリーライフ&amp;ヘルスケア</b></p> <p>DAILY LIFE &amp; HEALTHCARE</p> </div> </div>  <p>デイリーライフ&amp;ヘルスケア事業では、医療、生活資材、食品包材をターゲット市場とし、様々な製品を開発しています。</p>	<p>国内経済が回復基調となり、医療・生活資材市場向けコンパウンドの拡販により、増収となりました。海外も同様にASEANでの医療市場向けコンパウンドの販売が増加したことに加えて、原材料価格高騰に伴う製品への価格転嫁が進み、増収となりました。</p> <p>セグメント利益は、食品包材における原材料価格高騰分の価格転嫁の遅れにより、減益となりました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p><b>売上高</b></p> <p><b>33,492</b>百万円</p> <p>前年比…9.1%増</p> </div> <div> <p><b>セグメント利益</b></p> <p><b>1,477</b>百万円</p> <p>前年比…20.4%減</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>売上高の推移 (単位: 百万円)</p>  </div>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>エレクトロニクス</b></p> <p>ELECTRONICS</p> </div> </div>  <p>エレクトロニクス事業では、エネルギー、情報通信、IT機器市場等をターゲット市場とし、様々な製品を開発しています。</p>	<p>国内では、電力・産業電線、情報通信向け塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。海外では、米国、ASEANでの塩ビコンパウンドの販売増加に加えて、ASEAN・中国における車載用遮熱フィルムの拡販も進み、増収となりました。</p> <p>セグメント利益は、国内および海外での販売が増加したことにより、増益となりました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p><b>売上高</b></p> <p><b>24,626</b>百万円</p> <p>前年比…14.6%増</p> </div> <div> <p><b>セグメント利益</b></p> <p><b>996</b>百万円</p> <p>前年比…127.0%増</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>売上高の推移 (単位: 百万円)</p>  </div>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>ビルディング&amp;コンストラクション</b></p> <p>BUILDING &amp; CONSTRUCTION</p> </div> </div>  <p>ビルディング&amp;コンストラクション事業では、住宅、ビル、建築資材、土木等をターゲット市場とし、様々な製品を開発しています。</p>	<p>国内では、住宅着工件数は横ばいでしたが、政府の「住宅省エネ2023キャンペーン」による樹脂サッシ用塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。海外では、北米での塩ビコンパウンドの販売が進み、増収となりました。</p> <p>セグメント利益は、国内のフィルム販売減少と原材料価格高騰分の価格転嫁の遅れにより、減益となりました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p><b>売上高</b></p> <p><b>27,186</b>百万円</p> <p>前年比…8.1%増</p> </div> <div> <p><b>セグメント利益</b></p> <p><b>1,050</b>百万円</p> <p>前年比…7.1%減</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>売上高の推移 (単位: 百万円)</p>  </div>

## TRANSPORTATION トランスポーテーション

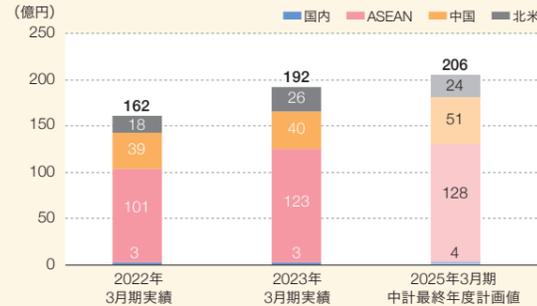
重点分野



ワイヤーハーネス 自動車用成形部材

当セグメントでは、ワイヤーハーネスと自動車用成形部材を重点分野に位置づけています。近年、EVの技術開発はますます活発化、加速化していることから、搭載される電気配線系統、成形機能部材のニーズや要求特性の多様化に対応した製品開発を進めています。ワイヤーハーネス事業では、拡大するASEAN・インド向け案件を確実に取り込んでいきます。また、薄肉電線の拡販を進めるとともに、競争力のあるグレードの市場投入に注力していきます。自動車用成形部材の事業においては、モール・シール材の拡販を始め、日系大手部品メーカーへの採用拡大と海外展開を進めます。同様に、機能部品分野への採用拡大、拡販に注力するとともに素材転換・ゴム代替の推進・環境対応製品の投入と海外展開に取り組んでいきます。3カ年中期経営計画の最終年度(2025年3月期)では、売上高425億円、セグメント利益36億円を計画しています。

ワイヤーハーネス向けコンパウンド売上高



自動車用成形部材向けコンパウンド売上高



## DAILY LIFE & HEALTHCARE デイリーライフ&ヘルスケア

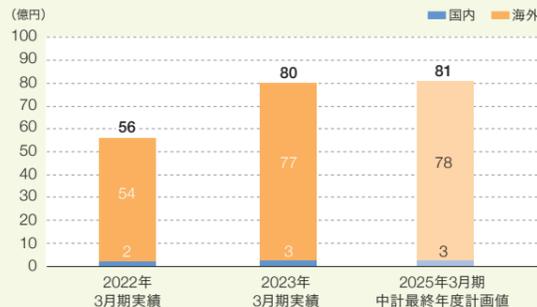
重点分野



医療用 ゴム代替 環境素材

当セグメントでは、医療用塩ビコンパウンド、ゴム代替コンパウンド、食品包材、環境素材を重点分野としています。医療用塩ビコンパウンド分野では、ASEAN地域において、タイ、ベトナム、インドネシア3拠点の供給網による医療市場での日系企業との取引深耕に加え、高い品質と医療製品に求められる安定供給能力を活かした非日系企業の新規開拓も進めています。また、医療・ヘルスケア市場において、高い衛生性をベースに機能性を付与し、ゴム代替コンパウンドの提案・拡販活動を推進します。生活・産業資材市場においてもゴム代替コンパウンドや新たな機能素材の開発、食品包材の拡販、バイオマスプラスチックRIKEBIO®シリーズを含む環境対応素材の用途展開にも取り組んでいきます。3カ年中期経営計画の最終年度(2025年3月期)では、売上高354億円、セグメント利益25億円を計画しています。

医療用塩ビコンパウンド売上高



ゴム代替コンパウンド売上高



バイオマスプラスチックRIKEBIO®については、「特集」(P17~P20)で紹介しています。

## ELECTRONICS エレクトロニクス

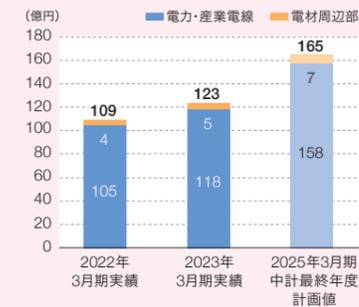
重点分野



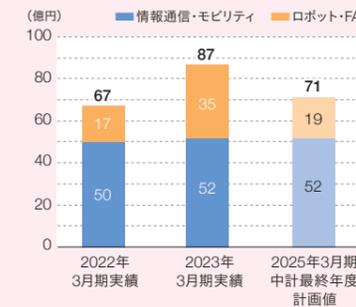
電力・産業電線 情報通信 光学フィルム

当セグメントでは、電力・産業電線、情報通信、光学フィルムを重点分野に位置づけており、電力・産業電線分野で長年培った技術力と品質管理力、原材料調達力等、当社の優位性を活かし、国内・海外でのシェア拡大を目指します。情報通信・モビリティ分野ではEV向け材料の新規拡販を、ロボット・FA市場では材料性能向上を追求した新製品の開発、販路拡大に取り組んでいきます。光学フィルム市場においては、ディスプレイ用途向けの採用拡大を目指しています。車載ウィンドウフィルム分野では、ASEAN市場で販売力強化による拡販を進めていきます。3カ年中期経営計画の最終年度(2025年3月期)では、売上高290億円、セグメント利益13億円を計画しています。

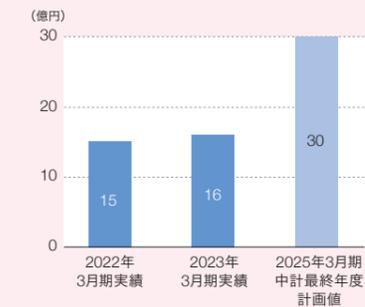
電力・産業電線市場向けコンパウンド売上高



情報通信市場向けコンパウンド売上高

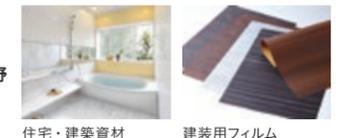


光学用フィルム売上高



## BUILDING & CONSTRUCTION ビルディング&コンストラクション

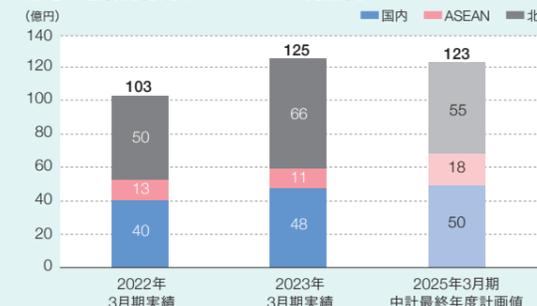
重点分野



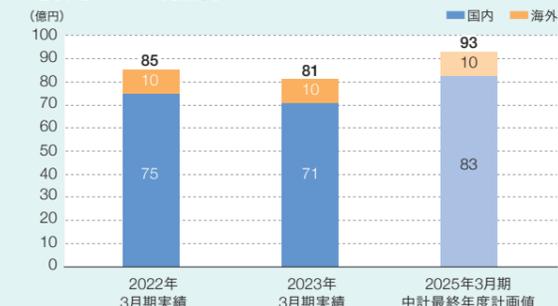
住宅・建築資材 建築用フィルム

当セグメントでは、住宅・建築資材分野、建築用フィルムを重点分野としています。顧客の期待の先を行く意匠・機能・サービスの差別化と商品力の向上で業界シェアアップを目指します。住宅・建築資材分野においては、国内市場は将来的に縮小していくことが予想されていますが、住宅業界の省エネ需要の取り込みによる樹脂サッシ用塩ビコンパウンドの拡販を進めていくとともに、建築材用途の熱可塑性エラストマーコンパウンドの高機能化や環境対応とゴム代替を推進していきます。海外市場においては、タイをはじめとするASEAN地域にて硬質塩ビコンパウンドの市場を開拓し、拡販を進めていきます。建築用フィルム分野では、店舗改装需要を中心に高級壁装製品の国内での採用・販売拡大に取り組むとともに、海外市場においては北米・中国を中心に家具用途への新規採用と拡販を目指していきます。3カ年中期経営計画の最終年度(2025年3月期)では、売上高280億円、セグメント利益14億円を計画しています。

住宅・建築資材向けコンパウンド売上高



建築用フィルム売上高



※ 2025年3月期中計最終年度計画値の前提条件 ナフサ価格：61千円/KL 為替：114円/USD